

社会福祉法人 東京援護協会



東援だより 第29号

理 念

私達は、高い志を持ち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、活力のある経営を行って、社会福祉法人としての責任を果たし、社会に貢献してまいります。



東京高次脳機能障害者支援ホーム
(詳細…3ページ)

も く じ

- 評議員会・理事会 新たなスタート…2
- 施設紹介…
東京高次脳機能障害者支援ホーム…3
- 特集1 自主製品販売 ……4
- 特集2 記念式典報告 ……5
- 上半期 法人施設公開行事日程 ……6
- 「プリセプター」研修開催
↳ 導入直前研修…7

改正社会福祉法の施行

理事長 山口 桂造



社会福祉法人の運営は、「公益性」と「非営利性」をその中心に据えておかなければなりません。しかし、それを忘れず、祥事を起こした法人があり、「多額の内部留保金を有しているのはおかしい」、「税の優遇措置を受けるべきではない」等の批判が続出しました。国は、これらの批判に対処するため、法人の制度改革を断行すべく、社会福祉法を改正しました。

昨年四月一日にその一部が、今年四月一日に全部が施行されました。改正内容の主なものを四つ述べます。

一つは、地域における公益的な取組を実施する責務の明文化です。支援を必要とする者に対して無料または低廉な料金で福祉サービスを積極的に提供しよう努めなければならない、と規定されました。社会福祉法人の本来の役割を明確化したものです。このサービスの提供に当たって、東京都社会福祉協議会は、都内の法人が連携して行う地域公益活動が最も効率的・効果的であると考え、「東京都地域公益活動協議会」を設置し、中間的就労等のサービス事業を推進しています。当法人も、この協議会に参画し、中間的就労事業に積極的に取り組んで参ります。

また、年度ごとの資産から事業継続に必要な財産を差し引いた残りの「社会福祉充実残額」がある法人は、それを財源として、社会福祉充実計画を作成し、実施しなければなりません。ただ、当法人の平成二十八年度社会福祉充実残額はありませんでした。

二つは、経営組織のガバナンスの強化です。法人の運営が、一部の役員等によって独善的、恣意的にならないよう、評議員会を最上位の議決機関とし、理事会を業務の執行機関としました。また、当法人のように一定規模以上の法人には会計監査人の設置が義務付けられました。

三つは、事業運営の透明性の向上です。財務諸表等に加えて、定款、事業計画等の公開が新たに義務付けられました。四つは、財務規律の強化です。特に毎期の社会福祉充実残額の明確化が規定されました。

当法人は、法改正を真摯に受け止め、既に定款の改正、新しい評議員会・理事会の設置、会計監査人の選任等法が求める手続きは全て終了しました。これからも、社会福祉法人としての責務を全うし、法人の「理念」の実現に努め、利用者の方々、地域社会になお一層貢献して参ります。

評議員会・理事会 新たなスタート

社会福祉法の改正に対応するため、平成二十九年四月一日から、評議員会は、最高意思決定機関として、理事会は、業務執行機関としての役割を担っていただき、新しい体制、新たな視点で法人運営を行っていただきます。

評議員、理事、監事の方々は、名簿のとおりです。

評議員

役職名	氏名
評議員	浦井 正明
評議員	二木 忠男
評議員	政木 喜三郎
評議員	関口 和雄
評議員	服部 清道
評議員	保坂 敦子
評議員	潘 桂華
評議員	中村 久雄

八名(敬称略)

理事

役職名	氏名
理事長	山口 桂造
副理事長	帆刈 祥弘
常務理事	山口 英次
理事	高橋 恭一
理事	笠原 重厚
理事	生沼 正篤
理事	中島 滋夫

七名(敬称略)

監事

役職名	氏名
監事	中村 保彦
監事	橋本 和夫

二名(敬称略)

施設長人事

新任

町田 荘 井上 曜子

東京高次脳機能 障害者支援ホーム 井嶋 陽一

田柄福祉園 中川 昌次

異動

前野福祉園(前小豆沢福祉園) 猪俣 正伸

小豆沢福祉園 (前練馬障害者支援ホーム) 山口 悟

大泉障害者支援ホーム (前田柄福祉園) 高橋 廣

退職

町田 荘 佐伯 克子

前野福祉園 笹沼 多恵子

大泉障害者支援ホーム 中島 滋夫

計報



元理事 森田浩一郎様(元日本医師会常任理事)には、平成29年3月8日にお亡くなりになりました。森田様には、平成4年から当法人の理事として、また、当法人後援会長として多大なるご尽力を賜りました。改めて、感謝の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。



施設
紹介

東京高次脳機能障害者支援ホーム

通称：HiBDy.Tokyo（ヒブディ・トウキョウ）
「Higher Brain Dysfunction」



新しい東京高次脳機能障害者支援ホームが開設しました

施設長 井嶋 陽一

東京高次脳機能障害者支援ホーム（旧東京都練馬障害者支援ホーム）は、東京都からの民間移譲を受け、平成29年4月から社会福祉法人東京援護協会が設置する新たな直営施設として運営を開始しました。

施設名称は、東京高次脳機能障害者支援ホーム（通称:HiBDy.Tokyo）〔(注) 高次脳機能障害の英訳:Higher Brain Dysfunction〕に変わりました。都内唯一の高次脳機能障害者に対応する、入所自立訓練施設として新たな出発をしました。

今後は、高次脳機能障害者にターゲットを絞り（高次脳機能障害者以外でも自立訓練を

必要とする方は利用できます）、地域移行支援はもとより、支援者団体との協力、高次脳機能障害の広報啓蒙、専門化した相談的機能も視野に入れ、高次脳機能障害者の頼れる施設として充実させていきます。

更に、施設の移設、建替えの課題にも直面しているため、経営的な視点を持った安定運営を目指し、はっきりとした見通しを持って、施設運営の課題を乗り越えてまいります。高次脳機能障害に専門化した人材育成も更に強化し、医療と福祉の狭間にある課題に積極的に取り組んでいきます。





自主製品販売

「3時Cafe」 自主製品販売

高島平福祉園 主任生活支援員 内田 直史

昨年10月、高島平福祉園西台分場に「3時Cafe」がオープンしました。平日の10時〜15時に営業しており、コーヒーや紅茶、焼き立てパン、サンジユの焼き菓子の販売をしており、特に焼き立てパンは好評を得ております。喫茶メニューの他にもTシャツや手工芸品等の福祉園の自主製品を販売しています。



また、併設の西台デイルームは、地域公益活動・地域交流促進の場として『よろず相談』を実施しており、今後は、さらに各種学習会やイベントを開催していく予定です、障がい者の方々の創作作品のギャラリー、暑さしのぎ休憩所設置、地域障がい者の仕事体験の場の提供等を検討しています。



また、併設の西台デイルームは、地域公益活動・地域交流促進の場として『よろず相談』を実施しており、今後は、さらに各種学習会やイベントを開催していく予定です、障がい者の方々の創作作品のギャラリー、暑さしのぎ休憩所設置、地域障がい者の仕事体験の場の提供等を検討しています。

「UVレジン」

大泉障害者支援ホーム 生活支援員 久留 ちひろ

大泉障害者支援ホームではUVレジン液で作った作品を自主生産品として販売しています。

「UVレジン」とは「紫外線硬化樹脂」のことを言い、すなわち、「UVレジン液」とは紫外線に反応し、硬化する液体です。UVレジン液の中にビーズや好きなパーツを入れて紫外線を5分程照らすと液体が固まります。1点物が多く、同じパーツを使っても全く同じものが出来ないのがUVレジンの特徴です。UVレジン製品は、練馬区内で開催される地域のイベント、練馬区役所での福祉販売会、法人内他施設のお祭りの他、当施設で毎月第3月曜日に実施している陶器市などでも販売をしております。機会がありましたら、利用者さんの感性溢れる作品に是非触れてみてください。



「中野製菓板橋いっぴんデー」 自主生産品販売

前野福祉園 主任生活支援員 中澤 幸治

前野福祉園では毎週木曜午後の正面玄関前などの定期販売の他、各種イベントでの自主生産品販売を実施しています。今回は中野製菓さんでの販売をご紹介します。中野製菓さんは板橋区内のかりんとう屋さんで毎週水曜と土曜に工場直売を実施しています。その内の毎月第一土曜は「板橋のいっぴんデー」と称して、区内の他の「いっぴん」の商店さんと呼んで販売会を実施しています。「板橋のいっぴん」は区民が推奨したお惣菜やお菓子等を区が選り定めた商品で、中野製菓さんの黒糖かりんとうや前野のオレンジシフォンも選ばれています。その「板橋いっぴんデー」に年2〜3回、私たちも参加しています。直近では3月4日のいっぴんデーに参加しました。当日は魚屋さん、お煎餅屋さん、お菓子とパン屋さんの3店舗と一緒に販売しました。一般の商店を営んでいるみなさんと並んで販売していると商品開発の工夫や接客の仕方など勉強になることがたくさんあります。今後も、中野製菓さんをはじめ、いっぴん会を盛り上げている店舗のみなさんの列に加わって、地域を盛り上げる活動に参加していきたいと思っております。





記念式典報告

町田荘創立50周年記念式典

町田荘 生活支援員 遠藤 英雄

平成28年10月18日(火)に町田荘創立50周年記念式典を執り行いました。

町田市長をはじめ、国会議員、東京都議会議員、町田市議会議員の皆様や、近隣関係機関の皆様、元利用者や元職員といった町田荘に所縁のある方など、多くの方にご臨席いただきましてお祝いすることが出来ました。

式典では、来賓祝辞や理事長挨拶で、日本初のリフトカーが町田荘所縁のものであったことが話題になりました。また、町田荘の歴史を振り返るスライドショーの上映や、施設に貢献していただいた方への感謝状と花束の贈呈、利用者代表による思い出の盛り込まれた胸に浸みる閉会の辞など、和やかな式典とすることが出来ました。

多くの方に支えられ50周年を迎えることが出来たことに、深く感謝するとともに、新たな50年に向けて、職員一同力を合わせて素晴らしい施設づくりを目指して参ります。



「開設30周年記念虹の祭典」

高島平福祉園 主任生活支援員 内田 宣史

11月26日(土)



に、高島平福祉園・障がい者福祉センター共催の、開設30周年を記念する虹の祭典を開催いたしました。当日は、30周年の記念品をご来場の方にお配りし、板橋区福祉部長をはじめ、議員の方々、町会長などの地域の方々、利用者家族など多くの方々を、当法人理事長も出席する中、趣向を凝らした企画で迎えたいました。



た。地域交流コーナーとして他施設に自主製品販売を行っていたいたり、イベントで地域の高校生にダンスを披露していただいたり、ポッチャ体験コーナーで楽しんでいただいたりと、大いに盛り上がりました。

今までも、これからも、私たちは地域の方々に愛される施設運営を行ってまいります。

関町福祉園記念式典の報告

関町福祉園 主任生活支援員 岩村 友敬

10月29日(土)に、関町フェスティバルを開催しました。今年は関町福祉園開設30周年ということで、記念式典を行っています。長年福祉園の活動に協力して下さっている方々に感謝状を贈らせて頂きました。



30年の歴史を振り返るスライドショーを上映し、皆さんの若々しい姿に盛り上がりました。最後に、30周年記念創作の発表を行いました。利用者の皆さんが絵の具を使って色鮮やかに塗った背景に切り抜いた紙を合わせた、素敵な作品になっています。ホールの壁に掲示しましたので、来園の際はぜひご覧ください。記念誌も制作し、練馬区長を始め、関町福祉園に携わって来られた方々よりお祝いの言葉を頂きました。たくさんのご支援に感謝しながら、これからも歩んでいきたいと思っております。

東京援護協会後援会からのお知らせ

平成 28 年度の加入状況、及び収支の状況をご報告いたします。
平成 29 年度も引き続きご入会いただけますよう、お願い申し上げます。

平成 28 年度収支報告 (単位:円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	6,752,911	会費振込手数料	12,390
会費収入	1,109,000	事務費	21,674
受取利息	693	次期繰越金	7,828,540
合 計	7,862,604	合 計	7,862,604

平成 28 年度会員及び会費の状況

内 訳	件 数	口 数	会 費
個人会員	48	159.5	319,000 円
法人・団体会員	49	79.0	790,000 円
合 計	97	238.5	1,109,000 円

平成 29 年度後援会への入会のお願い

個人会員	1 口 (年会費 2 千円より)
法人・団体会員	1 口 (年会費 1 万円より)
郵便振替口座	・口座記号 001006 ・口座番号 545107 ・口座名義 東京援護協会後援会

※各施設に振込用紙を用意しておりますので、ご利用ください。
(振込手数料は後援会負担となります)



平成 29 年度 上半期 法人施設公開行事日程 及び 地域交流行事一覧

施設名	行事名	月 日	時間帯	内 容
目黒区東が丘障害福祉施設・東が丘荘合同	あじさいまつり	6月3日(土)	10:00~14:30	地域の中学校等参加の地域交流イベント (模擬店多数、吹奏楽演奏等多数)
田柄福祉園	ひまわりフェスタ (納涼祭り)	7月8日(土)	17:00~19:00	地域交流行事・福祉園バザー・模擬店・イベント等
練馬区立関町福祉園	納涼会	7月15日(土)	17:00~19:30	地域交流行事(各施設の自主生産品出店、模擬店、コンサート、ゲーム等)
小豆沢福祉園	夏祭り	7月22日(土)	10:30~14:30	地域交流行事、盆踊り・太鼓・模擬店・作業作品販売など各コーナーあり
町田荘・サルビア荘合同	納涼祭	7月22日(土)	17:30~19:45	納涼祭を通して、施設利用者と家族、地域住民並びにボランティアとの連携交流
高島平福祉園	納涼祭	7月28日(金)	18:30~21:00	地域交流行事 (盆踊り・自主製品販売・模擬店コーナー等)
蓮根高齢者在宅サービスセンター	夏祭り	8月予定	未定	地域交流行事(アトラクション、喫茶コーナー、ケーキお菓子販売など)
前野福祉園	納涼祭	8月中旬(土)	18:00~21:00	地域交流行事として前野4丁目町会と合同で開催
三園福祉園	納涼祭り	8月19日(土)	17:00~19:00 (予定)	自主生産品販売・模擬店・その他イベントも予定
大泉障害者支援ホーム	ボランティア入門講座	9月3日(日)	13:00~15:00	ボランティア活動に興味のある方、希望の方を対象に施設や活動内容のご案内。
大泉障害者支援ホーム	ふれEYEまつり	10月7日(土)	10:00~15:30 (予定)	施設紹介、各施設の自主生産品販売、模擬店、各種アトラクション等。
東京高次脳機能障害者支援ホーム	ふれあい秋まつり (仮称)	10月予定	10:00~15:00	施設交流・地域顔会行事。自主生産品販売、模擬店、体験コーナー等。
蓮根福祉園	れんこんまつり	10月7日(土)	未定	地域交流行事として地域団体の協力を得て開催。自主製品販売・模擬店など

平成28年度 法人内部 研修実施報告

< 階層別研修 >

研修名	実施日	受講数	◎目的	○概要
新任職員研修	第1回 H28.4.14 (木)	22名	◎法人理念・経営方針・組織・事業運営について	
	第2回 H28.10.6 (木)	11名	◎法人職員としての帰属意識・連帯感の醸成 ○法人事業概要・人事・給与・福利厚生・人材育成・人事考課・キャリアパス ○事例検討・先輩職員を囲んで	
中堅職員研修(初級) (採用3~5年)	H28.7.7 (木)	19名	◎新人職員指導に必要な知識・技術・役割の習得 ○職場のコミュニケーションとチームワーク ○自己啓発の基本と挑戦目標 ○外部講師による演習・講義	
中堅職員研修(上級) (採用5年以上)	H28.9.8 (木)	18名	◎業務遂行上必要な知識・技術・役割の習得 ○業務改善の必要性と課題の発見 ○後輩職員指導の基本と実践等 ○外部講師による演習・講義	
指導職主任研修 (新任・現任)	H28.6.27 (月)	20名	◎指導職職員としての自覚と意識の確立 ○メンタルヘルスマネジメントと指導職職員への期待 ○部下のやる気を引き出すアプローチ ○外部講師による演習・講義	
指導職係長研修 (新任・現任)	H28.7.13 (水)	7名	◎部下の育成・課題解決能力の向上 ○指導職職員のメンタルヘルスの理解 ○部下のやる気を引き出すアプローチ ○環境分析と課題の明確化 ○外部講師による講義・グループ討議	
幹部職員研修 ☆京王プラザホテル	H28.12.16 (金) 18:45 ~ 21:30	140名	○外部講師による講演 「福祉施設と医療施設の危機管理~共通点と相違点」 順天堂大学 医学部付属順天堂医院 医療安全管理室長 川崎 志保里氏 (理事長・副理事長・常務理事 施設長・次長・課長・係長・主任対象)	

< 課題別研修 >

研修名	実施日	受講数	◎目的	○概要
新任人事考課者研修	H28.7.15 (金)	9名	◎適正人事考課の習得 ○法人内部講師による講義 (人事考課実施要綱に準ずる)	
幹部職員候補研修	H28.7.12 (火)	6名	◎幹部職員に必要な業務遂行能力の習得 ○理事長・副理事長・常務理事との懇談	
	H28.10.11 (火)	7名		
	H29.1.17 (火)	6名		
接遇研修	H28.8.4 (木)	17名	◎利用者サービスの向上 ○外部講師による演習・講義 ○法人理念の実現のための接遇について	
文書専門研修	H28.11.10 (木)	22名	○法人内部講師による講義 ・文書の基本・演習(副理事長) ・法人の文書事務(事務局長)	
プリセプター研修	H29.2.17 (金) 午前	25名	◎プリセプターの資質向上 ○外部講師による演習・講義	
	H29.2.17 (金) 午後	29名		
トップと語ろう	第1回 H28.6.16 (木)	12名	一般職及び専門職	
	第2回 H28.9.15 (水)	11名		
	第3回 H28.11.17 (木)	10名		
施設間交流研修	H28.4 ~ H29.3	延20名	17施設(同種・異種)での研修	

< 専門会議 >

会議名	実施日	出席者数	概要
次課長会議	年3回	各13名	○次課長職員対象 ○理事長・副理事長・常務理事との懇談
看護職専門会議	H28.6.17 (金)	20名	○熱中症対策について ○情報交換等
	H28.11.22 (月)	22名	
栄養士専門会議	H28.5.19 (木)	13名	○栄養業務に関わる各施設の課題について ○衛生管理について
	H28.11.17 (木)	13名	
研修担当者会議	H28.6.17 (金)	21名	○プリセプター制度について
	H29.2.10 (金)	21名	

< 受講者アンケート感想より >

☆午前 ★午後

☆サービスの安定化には、プリセプター制度の活用は、有効であることを再認識することができました。

☆良い人材が育つということはサービスの向上にもなるということ、人材が育てばストレスを軽減して働けるということでもあり、重要であると考えました。

★自身がプリセプターとしての役割を遂行していく上では、様々な要素が必要と改めて感じ、まずは副理事長のお話にもあった「プリセプター自身が成長すること」を目標に努めていきたいと思いました。

「プリセプター研修開催」
導入直前研修

平成29年2月17日(金)、くらまえ地域包括支援センターに於いて、プリセプター研修を開催しました。プリセプター制度とは、プリセプター(先輩職員)がプリセプティ(新人職員)をマンツーマンで一定期間教育・指導することをいいます。新人職員は、安心して知識や技術を習得することができます。先輩職員は業務の再確認、資質の向上を図ることができます。

午前はプリセプターを指導する役職者(主任・係長)25名、午後は各施設のプリセプターに任命された職員29名が受講しました。当日は、帆刈副理事長より挨拶があり、続いて、(株)エイデル研究所の君嶋信子講師に法人全体の人材育成の考え方やプリセプターとしての役割等を講義していただきました。29年4月の導入に向けて、「プリセプター制度についてより深く知る」ことを目的とした研修でしたが、手ごたえは十分にあったと感じています。

法人研修PT





法人の徽章

○徽章の理念は『平等』を現しています。
 ○上半分は『太陽』を、下半分は『海』を意味しています。
 『太陽』は生きる者全てに、わけ隔てなく光を与え育みます。そして人への愛、温もり、笑顔などのイメージが広がります。『海』は、地球上のあらゆる生物を産み、暖かく育ててくれた場です。
 ○『太陽』と『海』の存在が、平等を実現しています。

社会福祉法人東京援護協会施設一覧

法人本部

〒101-0044
 千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル2階
 TEL : 03-3256-4711

施設(事業)名	住所
町田荘 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業(空床利用型)	〒194-0203 町田市国師町 2987 TEL : 042-791-0905
サルビア荘 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護事業 指定居宅介護支援事業 通所介護事業	〒194-0203 町田市国師町 2987 TEL : 042-794-0333
東京高次脳機能障害者支援ホーム (ヒブディ・トウキョウ) 施設入所支援事業 生活介護事業 自立訓練(機能訓練)事業 短期入所事業(空床利用型)	〒178-0065 練馬区西大泉 5-36-2 TEL : 03-3925-0088
練馬区立心身障害者福祉センター 練馬区中途障害者通所事業 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 地域活動支援センター	〒176-0021 練馬区糀井 1-9-1 TEL : 03-3926-7214
高島平福祉園 生活介護事業 就労継続支援B型事業 板橋区立障がい者福祉センター 地域活動支援センター (地域活動支援センター事業) (セミナー事業) (施設利用) 指定相談支援事業	〒175-0082 板橋区高島平 9-25-12 TEL : 03-3550-3403
高島平福祉園分場 就労継続支援B型事業	〒175-0082 板橋区高島平 9-1-8-201 TEL : 03-5399-7170
蓮根福祉園 就労継続支援B型事業	〒174-0043 板橋区坂下 2-8-1-101 TEL : 03-5392-0761
前野福祉園 就労継続支援B型事業 前野高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業 指定居宅介護支援事業	〒174-0063 板橋区前野町 4-16-1 TEL : 03-5392-8731
特別養護老人ホームいずみの苑 短期入所生活介護事業 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 訪問介護事業 地域包括支援センター	〒174-0042 板橋区東坂下 2-2-22 TEL : 03-5970-9101

施設(事業)名	住所
蓮根高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業	〒174-0046 板橋区蓮根 2-28-2 TEL : 03-5994-1111
小豆沢福祉園 生活介護事業	〒174-0042 板橋区東坂下 1-4-9 TEL : 03-3969-5131
ケアハウス松が谷 軽費老人ホーム 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0036 台東区松が谷 4-4-3 TEL : 03-3845-6501
特別養護老人ホーム蔵前 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0051 台東区蔵前 2-11-7 TEL : 03-3862-3033 〒111-0051 台東区蔵前 2-11-3
自立支援センター豊島寮 自立支援事業 地域生活継続支援事業 地域生活移行支援事業 巡回相談事業 ホームレス生活サポート事業	豊島区内
大泉障害者支援ホーム 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業 就労移行支援事業 就労継続支援B型事業	〒178-0061 練馬区大泉学園町 9-4-2 TEL : 03-3978-5581
東が丘荘 更生施設 通所・訪問事業 ステップハウス事業 宿泊所	目黒区内
目黒区東が丘障害福祉施設 目黒区立東が丘福祉工房 生活介護事業 目黒区立東が丘あじさいホーム 短期入所事業 福祉ホーム	〒152-0021 目黒区東が丘 1-21-15 工房 TEL : 03-3410-0778 ホーム TEL : 03-3410-6030
練馬区立関町福祉園 生活介護事業	〒177-0053 練馬区関町南 3-15-35 TEL : 03-3594-0217
三園福祉園 生活介護事業 重症心身障害児(者)通所事業	〒175-0091 板橋区三園 2-9-16 TEL : 03-5383-9587
田柄福祉園 生活介護事業	〒179-0073 練馬区田柄 3-14-9 TEL : 03-3577-2201

発行日 平成二十九年六月一日
 発行者 山口桂造
 社会福祉法人 東京援護協会

東京都千代田区鍛冶町一八一五
 新神田ビル2階
 電話 〇三三三二五六一四七一

編集後記
 平成29年度も早くも2ヶ月が経ち、梅雨の季節となりました。この「梅雨」の語源・由来を調べてみますと、諸説ある中、6月7月の時期に「梅の実が熟す時期」にあること、梅の実が熟れて潰れる「潰ゆ(つぶ)」という時期であることという説が私は良いなと思いました。この時期は、体調管理が難しいのですが、次に来る厳しい暑さに備えてしっかりと乗り越えていきたいと思っております。
 さて、今号の記事にもありました通り、当法人の施設の中でも歴史ある施設が、50周年、30周年、民間移譲と節目を迎えました。これも利用者の皆様をはじめ、ご家族の皆様、地域の方々や関係機関の方々のおかげであり、多くの方々にご支援いただけたこと心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。これからも皆様に満足いただけるサービスを提供させていただきます。次の節目を目指して一歩一歩進んでいきたいと思っております。こちららも節目の第30号になります。その記念としての企画を考えており、10月ごろの発行予定となっておりますので、楽しみにお待ちください。



「春爛漫！自主製品の販売ワゴン」
 撮影：東が丘荘

この施設
 この一枚